

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第5回中央地区まちづくり会議				
事務局 (担当課)		中央区役所 地域振興課 本庁地域まちづくりセンター 電話042-707-7049(直通)				
開催日時		令和元年10月10日(木) 19時00分~21時00分				
開催場所		中央公民館コミュニティ室				
出席者	委員	17人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	2人(本庁地域まちづくりセンター)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開 会 2 議 題 (1) 地域活性化事業交付金について (2) まちづくり懇談会について (3) その他 3 閉 会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

(は委員の発言、 は申請団体の発言、 は事務局の発言、 は担当課の発言)

1 開 会

牛尾会長あいさつ

2 議 題

(1) 地域活性化事業交付金について

事務局から資料に沿って、今年度の事業執行見込み額及び追加事業はない旨を説明した。

主な意見・質疑

○交付金の執行見込み額が予算額に対して55%程度だが、制度上は大丈夫か。

地区として執行額が100%にならないことについては問題ない。10月末をもって区全体で取りまとめ、他の地区で一地区当たりの上限である250万円を超えて追加での事業実施を希望するものがあれば、そこに余った予算を配分するかたちとなる。

○他の地区の執行率はいかほどか。

地区によりけりで、執行率100%近い地区もあれば、0%の地区も存在する。

(2) まちづくり懇談会について

事務局から資料に沿って、令和元年度中央地区まちづくりを考える懇談会の概要について、再度説明し、懇談会で取り上げる具体的内容等について委員の意見を募った。

主な意見・質疑

○公園の問題について、地域としては特定の公園ではボール遊びを自由に出来るようにしたいとの希望がある一方で、市側としては中央地区はすでに施設状況に恵まれているとの認識を持っており、地域と市との間に認識の相違があると感じる。

○まず、地区内の公園については現在、まちづくり会議の公園チームにおいて全ての公園の調査研究を行っているところである。その中で、公園ごとの機能についても多種多様であることが見えてきた。また、積極的なボール遊びが出来る公園も少ないことは分かっている。今後も地区内の公園の現状把握も目的として調査を進めていくつもりである。

○素朴な疑問として、ボール遊びが制限されているような公園においてターゲットバドゴルフは実施してもよいのか。

- ターゲットバードゴルフの実施にあたっては、一定の公園スペースの占有が必要となるため、公園課に届け出を提出した上で、たとえば、富士見公園でいえば他への影響の少ない茂みの方で実施をしている。また、自治会には他利用者への影響を考慮して、土日は実施しないようお願いをしている。
- 中央地区として公園の利活用についてのルールが不明確であるとの認識は理解したが、たとえば、曜日ごとに利用できる内容を地域で決めて市に対して申し入れていくような取り組みはまちづくり会議ではできないか。
 - そのような取り組みを市と地域が協働してやっていくことについて、次のまちづくりを考える懇談会にて話をしていく予定でいる。
- 富士見児童クラブについては、富士見小学校体育館横の会議室を改修して、第3室を設けたが、現状はその日の参加人数や安全配慮の都合上、使用をしていない。富士見小学校で放課後子ども教室を実施すれば、富士見子どもセンターの過密状況の問題も解決するようにも思える。市の試算としては、今後少子高齢化が進み子どもが少なくなるため、利用児童数も減少するとの見込みがあるようだが、対して、女性の社会進出が進み、共働き世代は増えている傾向にあるため、今後も児童クラブに子どもを預ける親は増えていくだろうと思う。
- 市側が中央小学校と富士見小学校の学区の変更を含めて、この両校の不均衡の課題を解決するように取り組まなくては始まらない。
- 色々な委員の方が様々なご発言をしているため、ある程度まとめなくてはならない。おそらく、懇談会では地域からの要望を出しても、市がその場で明確な回答を出すことはできない。今回の懇談会に際して、地域として市に対し現状を理解してもらうことを目的とするのかなど、ある程度腹のすえ方を決めておかななくてはならないと思う。
- これまでの会議での話を伺っていると、今回の懇談会の目的は市に対して現状把握してもらうことなのか、それとも何か一つでも方向性を決めたいのか、理想論を言いたいのか、交錯しているような感じを受ける。だからこそ、しっかりと事前に要求して変えられることは何なのかを調査してから懇談に臨まなければ意味のないものになってしまう。直近の2～3年間で現実に実現可能な提案などをしていかなければ聞いている方も良く分からないものになってしまう気がする。
- 中央地区の学校問題で一番問題となっている件は富士見小の件である。この解決のために、学校の校庭開放と富士見小校舎を積極的に活用することを求めたい。
- 地域の認識としては、放課後子ども教室事業の実施は、広く自校児童に校庭が開放されていることが前提にあるものと捉えている。
- 富士見小学校の拡幅については一部実施に留まっているという認識があり、市に対して進捗状況の確認を求めたい。

結果

- ・テーマ説明者については、本日欠席の佐藤委員に打診することとなった。
- ・司会進行は昨年と同様、岡本委員に決定した。
- ・今回の懇談会での質問内容としては、主に以下の三点をまず質問することに決定した。

富士見小学校において放課後こども教室を実施できないか。

富士見小学校の校庭開放が実施できないか。

公園の利活用ルール作りはいかにして可能か。

(3) その他

- ・会長から、中央地区まちづくり会議での各プロジェクトチームの活動について、自治会加入率低下問題チームと交通事故問題チームについては、個別会議を実施していただくことをお願いした。
- ・会長から、自転車事故の件数が増えていることを報告し、今後実施を予定している「自転車事故防止キャンペーン」への参加を依頼した。また、振込詐欺も急増しているため注意を呼び掛けた。
- ・中央高齢者支援センターが「家族介護者教室」のチラシを配布し説明を行った。

3 閉 会

以 上

第5回中央地区まちづくり会議(10月10日開催)出席委員名簿

	氏名	役職	選出団体名等	出欠
1	牛尾 良一	会長	中央地区自治会連合会	出席
2	高橋 征彦		中央地区自治会連合会	出席
3	中川 清一		中央地区自治会連合会	出席
4	田坂 正子		中央地区自治会連合会	出席
5	徳田 文夫	副会長	中央地区社会福祉協議会	出席
6	鎌倉 轟		中央地区民生委員児童委員協議会	出席
7	小金澤 近雄		中央地区民生委員児童委員協議会	欠席
8	今井 千春		中央地区老人クラブ連合会	欠席
9	岡野 博		中央地区青少年健全育成協議会	出席
10	松田 正則		中央地区健康づくり普及員協議会	出席
11	島村 春男		中央地区防犯協会	欠席
12	守屋 守		交通安全協会	出席
13	岩下 孝二		中央地区連合自主防災隊	出席
14	中西 智子		中央小学校PTA	欠席
15	力石 武史		弥栄小学校PTA	欠席
16	佐藤 匠		富士見小学校PTA	欠席
17	岡本 和茂	副会長	中央公民館	出席
18	浦上 裕史		中央地区内商店街	出席
19	澤畔 正裕		中央高齢者支援センター	出席
20	代田 昭		公募委員	欠席
21	秋葉 秀二		公募委員	出席
22	倉澤 良明		公募委員	出席
23	木口 榮		公募委員	出席
24	鳥海 千秋		公募委員	欠席
25	井之上 久		公募委員	出席